

評価のまとめ

事業予定者の選定にあたっては、総合評価一般競争入札により実施した。総合評価一般競争入札では、価格及びその他の条件により落札者を決定するため、評価項目・配点及び評価の基準を「落札者決定基準」として示し、「入札説明書」等の交付と同時に公表した。また、民間のノウハウをより活用するため、市が行った実施設計をもとに入札時 VE 制度を採用した。

平成 12 年 12 月 25 日に入札公告を行い、平成 13 年 1 月 25 日に、12 グループからの参加表明を受け、すべてのグループが参加資格を有していることを確認した。また、参加表明書と同時に受付けた VE 提案書の審査を行い、その結果を参加資格者に通知した。平成 13 年 2 月 19 日に実施した入札では、資格審査を通過した参加資格者のうち、辞退した 1 グループを除き、11 のグループが参加した。11 のグループの入札価格は、いずれも予定価格（市が直接実施する場合の事業期間を通じた市の財政負担額）を下回るとともに、入札参加者が提出した入札書類（提案書）の内容は、入札説明書等において示した要求水準を満たす内容であった。

総合評価にあたっては、「落札者決定基準」に示した方法により提案の内容を審査し、得点の合計を入札価格の現在価値で除して得た数値（総合評価値）の最も高い得点を得た入札参加者を、審査委員会の審査を経て、落札者として決定することとしている。

11 グループの入札参加者の中で、入札価格（現在価値）が最も少ない受付番号 0 1 と次に少ない受付番号 0 7 との入札価格の差は、約 4%と僅差であったことから、審査にあたっては、特にこの 2 グループの提案内容の評価を慎重に行った。

このような中で、受付番号 0 1 の提案と受付番号 0 7 の提案を比較すると、「落札者決定基準」で示した 6 つの評価項目のうち、「施設の維持管理」、「プール施設の運営」及び「リスク管理方針」では、それぞれ優れた内容であると評価され、同じ得点を獲得したが、

「VE 提案による機能向上」の評価項目では、受付番号 0 7 の提案は、効果的な VE 提案が多く認められ、受付番号 0 1 に比べて高い得点が得られた。

「施工計画」の評価項目では、受付番号 0 1、0 7 とともに、校舎等の施設の引渡しに対して余裕のある日程の確保、具体的な近隣住民対策、及び屋外運動場に関して市の要求（平成 14 年 12 月末まで）以上の早期の竣工引渡し（平成 14 年の 2 学期以前）が提案されており、高い評価が得られた。さらに受付番号 0 7 の提案は、施工計画・工程計画及び着工までの手続きにおいて、具体的で実現可能であると認められる提案がなされているとともに、不測の事態が生じた際の対策において信頼できる対策が提案されていること等が高く評価され、受付番号 0 1 に比べて高い得点が得られた。

「事業計画」の評価項目では、受付番号 0 1、0 7 とともに、金融機関による具体的な融資確約が提示されており高く評価されたが、「SPC の速やかな設立」という評価項目に対し、受付番号 0 7 の提案は、事業協定案の市議会への議案提出を前提とした SPC の設立スケジュール

が具体的に示されており，市の要求に合致した提案として高い評価が得られた。一方，受付番号 0 1 の提案は，S P C 設立のスケジュールが提案されているものの，議会への議案提出のスケジュールとの整合性において懸念されたため評価されず，本評価項目においては，受付番号 0 7 の提案が高く評価され，受付番号 0 1 に比べて高い得点が得られた。

ことにより，評価に基づく得点の合計（満点 100）は，受付番号 0 7 が 97.25 と 11 グループ中 1 位の得点を獲得し，受付番号 0 1 は 92.70 を獲得した。そして，得点の合計を入札価格の現在価値で除した総合評価値は，受付番号 0 7 が 29.088，受付番号 0 1 が 28.881 を獲得し，総合評価値の順位では，受付番号 0 7 が 1 位，受付番号 0 1 が 2 位となり，審査委員会において，受付番号 0 7 が優秀提案として選定され，市はこれを受けて受付番号 0 7 を落札者として決定した。

以上